



2025年度アートサロン内テーマ展4

英国ブックデザインの美

入場
無料

2026 2/3 tu ~ 5/6 wed

英国ではかつて、本は読むための道具であると同時に、美術工芸品でもありました。印刷技術の発達によって本が大量に出版される一方で、「本をどのように美しく作るか」が強く意識されるようになります。工夫された印刷と豪華な挿絵、表紙やレイアウトのデザインは、機械化が進む時代において、美術工芸品としての価値を本に与えようとした人々の試みが垣間見えます。本テーマ展では、19世紀から20世紀初頭にかけ

H. J. フォード 絵『泣き乳児の本』(1902年刊)

て出版された英国の書物を通して、ブックデザインの美しさを紐解いていきます。挿絵や物語の内容だけなく、書物そのものの美しさに注目してもらい、当時の英国の芸術家の美意識や考え方、出版文化を学んでみましょう。

うつのみや妖精ミュージアム